

平成29年度 関西大学 研修員一覧

研究支援グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
文	春学期2名 秋学期1名 または 春学期1名 秋学期2名 の3名以内	教授	大久保 朝憲	H29.4.1～ H29.9.20	1.関西大学個人研究室 2.国会図書館	現在、アイロニー、緩叙法、婉曲語法、からかい、といった従来レトリックの分野で研究される言語現象を、論証主義の言語学といわれる、論証的ポリフォニー理論および意味ブロック理論に基づいて分析している。研修員としての期間は、これらの現象の事例(フランス語・日本語)をより大きな規模で収集し、上記の理論的な枠組みにより、統一的な記述ができるようにするための理論的精緻化のための期間とした。	
		教授	森 貴史	H29.4.1～ H29.9.20	1.ベルリン・フンボルト大学 2.ケルン大学 3.ゲッティンゲン大学	ドイツの視覚文化について、まず概略的な通史を踏まえ、オプティカルな機器群やカメラ・オブスクラといったいくつかのテーマについて個別に取り上げる。調査対象は著名な歴史博物館のみならず、17世紀から19世紀前半にかけてドイツの諸都市に存在した学術アカデミーが所蔵した学術機器・機材もまた含まれる。調査範囲は啓蒙主義で名を馳せた都市群を歴訪する予定である。	
経	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	長久 良一	H29.4.1～ H29.9.20	1.関西大学個人研究室 2.早稲田大学政治経済学部 3.神戸大学経済学部 4.京都産業大学経済学部	厚生経済学、社会的選択理論、規範的正義論に関して、7つのテーマの研究を完成させる予定である。1.条件付き厚生主義の可能性。2.個人間厚生比較と市場メカニズム。3.モラルコードとフェアプレイ均衡。4.展開系ゲームでの公正な分配。5.ワルラスルールの公理系。6.区分所有財と投票均衡。7.非循環値を持つアロウ型ルールの完全分類化。	
		教授	松下 敬一郎	H29.9.21～ H30.3.31	1.関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構 2.ミシガン大学社会調査研究機構 3.国立社会保障人口問題研究所 4.カーネギー・メロン大学神経系認知研究所	1.関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構の所有するデータの分析を進める。その際、ミシガン大学社会調査研究機構の認知経済学研究グループと共同研究を進めるとともに、カーネギー・メロン大学の神経系認知研究所と機構の連携を図る。 2.関西大学経済実験センターで高齢者の認知及び経済的意思決定の経済合理性についての研究を進め、計画書通りに分析を進める。	
商	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	水野 一郎	H29.4.1～ H29.9.20	1.関西大学研究室、図書館 2.九州大学、亜細亜大学 3.中国社会科学院、北京工商大学、天津财经大学 4.合肥工业大学、湖南大学、復旦大学、上海社会科学院	まず科研を中心とした過去10年にわたる研究成果を整理し、最近の中国会計の動向を文献的にフォローし、再考察をしていく。そのため研修期間を利用して、中国の大学や研究機関を訪問し、研究者との意見交換をし、新しい文献や資料を収集する。また日本でも中国会計や管理会計、社会関連会計の研究者と交流し、積極的に学会や研究会に参加し、研究報告を進める。研究成果を単著として公刊できるように準備する。	
		教授	廣瀬 幹好	H29.9.21～ H30.3.31	1.関西大学	F. W. Taylorのマネジメント思想についての研究をまとめるための学術論文の執筆、ならびに体系的な研究書(単著)を完成させる。	
社	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
政策	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
外国	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成29年4月1日現在)に抵触するものではありません。

平成29年度 関西大学 研修員一覧

研究支援グループ

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
人間	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
総情	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	教授	北島 治	H29.4.1～ H29.9.20	1.自宅 2.個人研究室 3.関西大学総合図書館 4.立教大学図書館および経済学部資料室 5.一橋大学図書館	化学産業・化学企業に関する資料・文献を収集し、解読・研究を行う。 3つの課題、化学産業・化学企業の経営分析を進め、関連する研究を行っている研究者との懇談や研究会への参加を行い、研修期間内に研究成果を出す事に専念する。	
		教授	阿辻 茂夫	H29.9.21～ H30.3.31	1.関西大学総合情報学部研究室及び自宅 2.東京工業大学大学院、同志社大学、京都大学 3.KIRASオーストリア政府「災害抑止プログラム」顧問 4.国際学会への出張(ISSS、IFSAM) 5.世界経営者会議、特許庁・関西財界セミナー、京都発明協会 6.その他、調査研究機関、出版社等	失敗意思決定について、経営環境の認知プロセスを阻む学習障害と構造慣性のメカニズムを分析し、事故・災害防止の為にマネジメントを提案する。 地震・津波・集中豪雨や洪水・旱魃による不作・凶作などの天災のクライシスと連鎖する人災リスクを抑制する次世代型意思決定の方法と対象を検討し、「減災マネジメント論」について上梓する。 国内外の研究機関や研究者と情報交換しながら、我国のみならず、広く世界の持続可能な社会に向けて、公共の福利に貢献可能な出版を目指す。	
社安	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
シス理	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
環都	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
化生	春学期1名 秋学期1名 の2名以内	被選考者なし					
法務	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
会計	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	宗岡 徹	H29.4.1～ H29.9.20	1.東京大学 2.東京電機大学 3.株式会社ディー・ディー・エス 4.自宅 5.関西大学、他	東京大学大学院情報学環の「セキュア情報化社会研究寄付部門」及び東京電機大学においてサイバーセキュリティ等の研修を行い、同部門において共同研究を行う。さらに、関係する企業や役所・近接部門の研究者等に対してヒアリングを行い、サイバー空間についての理解を深める。同部門より要請されている情報化社会における「サイバー空間及びそのセキュリティと現代社会の関係の多面的研究」、特に社会科学からの研究と当該分野の研究のとりまとめを行う。	
心理	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	教授	北村 由美	H29.4.1～ H29.9.20	1.四天王寺大学大学院人文社会学研究科 2.甲南大学文学部人間科学科 3.情緒障害児短期治療施設 希望の社 4.養護施設 四恩学園	1. 四天王寺大学大学院人文社会学研究科長のもとで、障害児福祉の現状と課題について研究する。 2. 甲南大学文学部人間科学科のもとで、児童虐待等の被害者への心のケア、特に心理療法について研究する。 3. 児童養護施設や情緒障害児短期治療施設等において、心理臨床すなわち、アセスメントや心理学的援助がどのように実践されているか研究する。	
教育	春学期1名 または 秋学期1名 の1名以内	被選考者なし					
国際		被選考者なし					

※ 規程 第3条第1項による在職年数(平成29年4月1日現在)に抵触するものではありません。